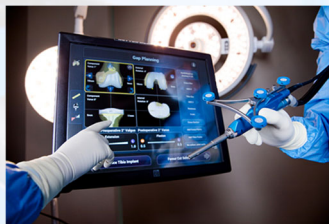


新潟リハビリテーション病院では 人工膝関節置換術支援ロボット「CORI」を導入 正確で安心安全な手術を受けられます

『人工膝関節置換術支援ロボット』とは

人工関節置換術とは、膝関節の傷んだ部分を取り除き、金属やセラミックなどで作られた人工関節に取り換える手術です。「ロボット」というと、人工知能を搭載したコンピュータが手術を行うことを連想されるかもしれませんが、手術支援ロボットはあくまでも手術を正確かつ安全に実施できるよう医師を支援するためのシステムです。



『人工膝関節置換術支援ロボット』のメリット

患者さん一人ひとりに合わせた手術計画

手術支援ロボットのシステムは、患者さん一人ひとり異なる骨のかたちや膝まわりのじん帯の状態を数値化し、コンピュータ画面に表示することができます。これにより、患者さんの膝に合わせた手術計画を立てることができ、手術後の膝の動きがより改善すると期待されています。

正確で安全な手術

医師がドリルで骨を削る際、手術支援ロボットはコンピュータ画面に削る部分を表示したり、計画された部分のみが削れるようドリルを制御します。これにより正確なインプラント設置が期待でき、人工膝関節インプラントがより長持ちすると期待されています。

高い精度

手術の誤差を最小限に抑え、より正確な手術を可能にします

低侵襲：骨の切除量を減らすことで、患者さんの体への負担を軽減できます

高い安全性：計画から外れた動きを制限することで、より安全な手術をサポートします

早期回復：手術後の痛みの軽減や、早期の機能回復が期待できます

『人工膝関節置換術支援ロボット』で健康長寿に貢献します

当院では、新潟大学整形外科膝関節診療チームの主導により最新の手術支援ロボットを導入し、患者さんそれぞれの膝の骨形状や、靭帯のバランスに合わせた最適な手術を提供しています。より安全に配慮した手術を実施し、安定した膝を再建することができ、患者さんの QOL 向上に貢献します。

手術支援ロボットの活用によって膝疾患で苦しむ皆様の痛みを軽減し、新潟の高齢者の健康長寿に貢献できることを願っています。

写真：真島裕也医師 望月友晴医師 染矢圭一郎医師 山本智章医師
新潟大学整形外科

